

【建築物省エネ法】 建築物エネルギー消費性能適合性判定

建物名 省エネサンプルプラン

1. 建築物エネルギー消費性能
2. 外皮平均熱貫流率 (U_A 値) 計算表
3. 冷房期の平均日射熱取得率 (η_{AC} 値) 計算表
4. 外皮性能算定平面図
5. 断熱仕様明細表
6. 断熱仕様別面積計算表
7. 建物の基準高さ
8. 屋根・天井設定図
9. 外皮等面積計算表
10. 外皮等面積根拠図
11. 一次エネルギー消費量 算定条件
12. 居室面積計算表
13. 居室面積根拠図
14. 暖房期の平均日射熱取得率 (η_{AH} 値) 計算表

株式会社インテグラルー級建築士事務所

〒305-0046
茨城県つくば市東2-31-18
TEL:029-850-3331 FAX:029-850-3334
<http://www.homeskun.com/>

1. 建築物エネルギー消費性能
適合性判定表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【建物条件】

建物名	省エネサンプルプラン		
建築地名			
省エネルギー基準地域区分	5地域 (茨城県つくば市(旧つくば市))		
外皮等面積 (m ²)	390.13m ²	建物方位	0.0度
断熱区分	天井断熱	屋根断熱	床下断熱
			基礎断熱

【総合判定】

建築物エネルギー消費性能
適合性判定 (外皮性能)

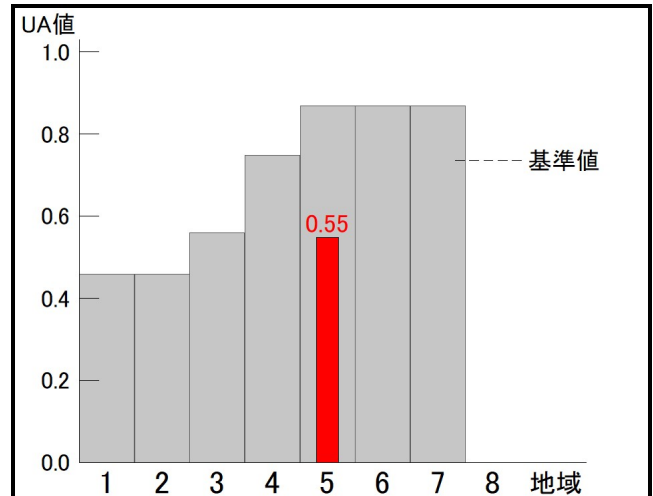
○適合

- 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令の一部を改正する省令」(令和4年経済産業省・国土交通省令第2号)に基づき判定を行います。
- 外皮平均熱貫流率(U_A値)と冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC} 値)の両方が基準を満たす場合に「適合」となります。

▼外皮平均熱貫流率 U_A 値 (W/m²K)

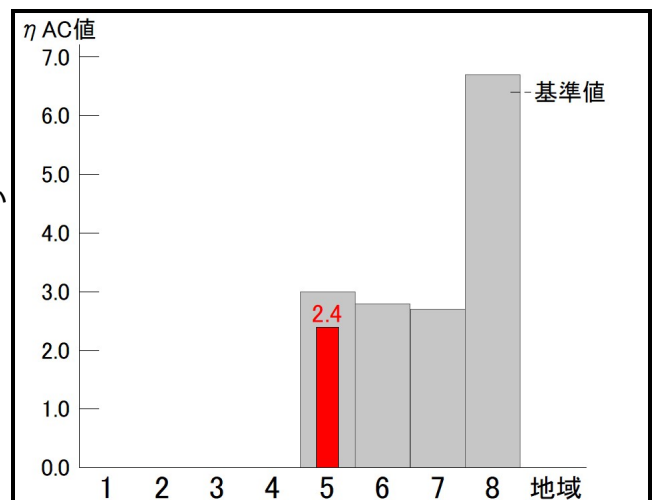
基準値	計算値	判定
0.87以下	0.55	OK

- 「建物内外の温度差が1℃の場合の部位の熱損失量の合計」を「外皮等面積」で除した値
- 値が小さいほど熱が通りにくく、省エネ性能が高い

▼冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} 値 ((W/m²)/(W/m²))

基準値	計算値	判定
3.0以下	2.4	OK

- 「冷房期の日射熱取得量」を「外皮等面積」で除した値
- 値が小さいほど日射熱を取得しにくく、省エネ性能が高い



【参考】誘導基準 適合判定(外皮性能)

	誘導基準 (外皮性能)		
	基準値	算定値	判定
外皮平均熱貫流率 U _A 値 (W/m ² K)	0.60以下	0.55	○適合
冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} 値	3.0以下	2.4	

2. 外皮平均熱貫流率(U_A値)計算表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

部位	仕様	外皮等面積 A (㎡)	付属 部材	熱貫流率 U (W/㎡K)	温度差係数 H	熱損失量 A・U・H (W/K)	熱損失の 割合 (%)
屋根	屋根 垂木充填 高性能グラスウール24K200mm	91.58	-	0.25	1.00	22.90	10.8
外壁	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	156.36	-	0.42	1.00	65.68	34.6
	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	17.89	-	0.42	1.00	7.52	
窓	窓 木製又は樹脂製:Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2 日射取得型)	1.00	0	1.60	1.00	1.60	39.8
	窓 木製又は樹脂製:Low-E複層ガラス(A11～A13 日射取得型)	33.82	0	2.33	1.00	78.81	
	窓 木製又は樹脂製:Low-E複層ガラス(A11～A13 日射取得型)	1.82	2	1.99	1.00	3.63	
ドア	(ドア)金属製熱遮断構造(フラッシュ構造)ポストなし	4.85	0	1.90	1.00	9.22	4.4
床	床 根太レス フェノールフォーム90mm	76.19	-	0.31	0.70	16.54	7.8
① 基礎等を除く部位の熱損失量の合計 (W/K)						205.90	97.4
基礎等	仕様	長さ L (m)	線熱貫流率 Ψ (W/mK)	温度差係数 H	熱損失量 L・Ψ・H(W/K)	熱損失の 割合 (%)	
	外気側:基礎1(フェノールフォーム 保温板 1種1号:50mm)	3.640	0.49	1.00	1.79		
	床裏側:基礎1(フェノールフォーム 保温板 1種1号:50mm)	10.920	0.49	0.70	3.75		
② 基礎等の熱損失量の合計 (W/K)						5.54	2.6
熱損失量の合計 q = ①+② (W/K)						211.4	
外皮等面積の合計 ΣA (㎡)						390.13	
外皮平均熱貫流率 U _A 値 = q/ΣA (W/㎡K)						0.55	

ΣA:①におけるAの合計と、土間床等面積の合計の和(土間床等面積は「外皮等面積計算表(床・土間床・基礎)」を参照)

付属部材(開口部に設置される付属部材の種類等)

0:なし、1:シャッター又は雨戸、2:障子、3:熱的境界の外部にある風除室

付属部材が付与された開口部の熱貫流率Uの計算式

シャッター又は雨戸、障子の場合

$$U = 0.5U_d + 0.5U_{dr} \quad U_{dr} = 1 / ((1 / U_d) + \angle Ratc)$$

熱的境界の外部に存する風除室の場合

$$U = 1 / ((1 / U_d) + 0.1)$$

U_d: 窓又はドアの熱貫流率

U_{dr}: 付属部材が付与された又は風除室に面する窓又はドアの熱貫流率

付属部材の種類等	熱抵抗∠Ratc
シャッター又は雨戸	0.10
障子	0.18

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

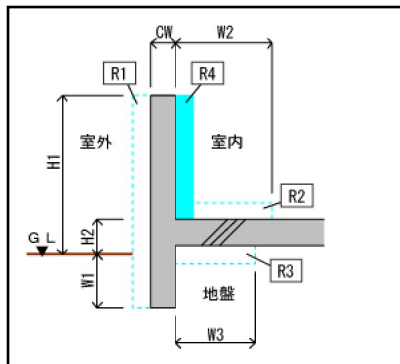
2. 外皮平均熱貫流率(U_A 値)計算表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【基礎等の断熱】



仕様	基礎1	線熱貫流率 Ψ (W/mK)	0.49
基礎形式	べた基礎	断熱方法	床下断熱
		基礎の深さ	1m以内
H1	地盤面からの基礎等の寸法 (mm) ※1		400
H2	地盤面からの底盤等上端までの寸法 (mm)		50
CW	基礎梁の幅 (mm)		120
W1	地盤面より下の立ち上がり部分の室外側の断熱材の施工深さ (mm)		-
W2	底盤部分等の室内側に設置した断熱材の水平方向の折り返し寸法 (mm)		-
W3	底盤部分等の室外側に設置した断熱材の水平方向の折り返し寸法 (mm)		-

※1 H1が400mmを超える場合、H1を400mmとして基礎の線熱貫流率を求めます。

	断熱材	熱伝導率 (W/mK)	厚さ (mm)	熱抵抗 (m ² K/W)
R1 室外側 立ち上がり	-	-	-	-
R2 室内側 底盤	-	-	-	-
R3 室外側 底盤	-	-	-	-
R4 室内側 立ち上がり	フェノールフォーム 保温板 1種1号	0.022	50.0	2.27

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

▼基礎等の線熱貫流率 Ψ 詳細法 簡略法

・基礎深さ1m以内の場合

$$\text{線熱貫流率 } \Psi = 1.80 - 1.36 \left(R1 (H1 + W1) + R4 (H1 - H2) \right)^{0.15} - 0.01 (6.14 - R1) \left((R2 + 0.5R3) W \right)^{0.5}$$

W : W2およびW3の寸法のうちいずれか大きい方の寸法。ただし、0.9を超える場合は0.9とする。(単位m)

・基礎深さ1mを超える場合

$$\text{線熱貫流率 } \Psi = \begin{cases} 1.80 - 1.47 (R1 + R4)^{0.08} & (R1 + R4) \geq 3 \text{ のとき} \\ 1.80 - 1.36 (R1 + R4)^{0.15} & (R1 + R4) < 3 \text{ のとき} \end{cases}$$

3. 冷房期の平均日射熱取得率
(η_{AC} 値) 計算表 < 1 >

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

外皮等面積の合計 ΣA (㎡)	390.13
(い)窓の日射熱取得量 (W/(W/㎡))	7.224
(ろ)窓以外の日射熱取得量 (W/(W/㎡))	2.095
冷房期の日射熱取得量 $mC = (い) + (ろ)$ (W/(W/㎡))	9.32
冷房期の平均日射熱取得率 $\eta_{AC} = mC / \Sigma A \times 100$ ((W/㎡)/(W/㎡))	2.4

【窓以外の日射熱取得量】

方位	方位 係数 ν_c	仕様	外皮等 面積 A (㎡)	熱貫 流率 U (W/㎡K)	日射熱 取得率 η_c (W/㎡)/(W/㎡)	日射熱 取得量 $A \cdot \eta_c \cdot \nu_c$ (W/(W/㎡))
上面	1.000	屋根 垂木充填 高性能グラスウール24K200mm	91.58	0.25	0.009	0.825
北	0.373	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	52.10	0.42	0.014	0.273
	0.373	(ドア)金属製熱遮断構造(フラッシュ構造)ポストなし	1.33	1.90	0.065	0.033
東	0.500	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	35.42	0.42	0.014	0.248
	0.500	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	6.62	0.42	0.014	0.047
南	0.472	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	34.86	0.42	0.014	0.231
	0.472	(ドア)金属製熱遮断構造(フラッシュ構造)ポストなし	3.52	1.90	0.065	0.108
	0.472	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	0.91	0.42	0.014	0.007
西	0.518	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	33.98	0.42	0.014	0.247
	0.518	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	10.35	0.42	0.014	0.076
下面	0.000	床 根太レス フェノールフォーム90mm	76.19	0.31	0.011	0.000
(ろ)窓以外の日射熱取得量 合計 (W/(W/㎡))						2.095

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

日射熱取得率 η_c $\eta_c = 0.034 \times f_a \times f_{shC} \times U$ (冷房期の日よけ効果係数 f_{shC} および 外気側表面に応じた係数 f_a は1.0として計算)▼冷房期の方位係数 ν_c

方位	省エネルギー基準地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
屋根・上面	1.000							
北	0.329	0.341	0.335	0.322	0.373	0.341	0.307	0.325
北東	0.430	0.412	0.390	0.426	0.437	0.431	0.415	0.414
東	0.545	0.503	0.468	0.518	0.500	0.512	0.509	0.515
南東	0.560	0.527	0.487	0.508	0.500	0.498	0.490	0.528
南	0.502	0.507	0.476	0.437	0.472	0.434	0.412	0.480
南西	0.526	0.548	0.550	0.481	0.520	0.491	0.479	0.517
西	0.508	0.529	0.553	0.481	0.518	0.504	0.495	0.505
北西	0.411	0.428	0.447	0.401	0.442	0.427	0.406	0.411
下面	0.000							

3. 冷房期の平均日射熱取得率 (η_{AC} 値) 計算表<2>

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【窓の日射熱取得量】

方位	方位係数 α_c	階	窓番号	開口名	開口仕様	遮蔽物	窓幅 X2 (mm)	窓高さ Y2 (mm)	外皮等面積 A (㎡)	日よけ						取得日射熱補正係数			日射熱取得率		日射熱取得量 $A \cdot \eta_c \cdot \alpha_c$ (W/(W/㎡))
										距離			長さ			fshC	fangC	fC	η_d	η_c	
										X1 (mm)	X3 (mm)	Y1 (mm)	Zx+ (mm)	Zx- (mm)	Zy+ (mm)						
上面	1.000	2	#T1		1	0	1,000	1,000	1.00	-	-	-	-	-	-	1.000	0.879	0.879	0.390	0.343	0.343
北	0.373	1	#2		39	0	740	700	0.52	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.084	0.084
	0.373	1	#3		39	0	740	700	0.52	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.084	0.084
	0.373	1	#4		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.186	0.186
	0.373	2	#5		39	0	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.291	0.291
	0.373	2	#6		39	0	740	1,100	0.81	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.130	0.130
	0.373	2	#7		39	0	740	1,100	0.81	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.130	0.130
	0.373	2	#8		39	0	740	1,100	0.81	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.130	0.130
東	0.500	1	#9		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.249	0.249
	0.500	1	#10		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.249	0.249
	0.500	2	#11		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.249	0.249
	0.500	2	#12		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.249	0.249
南	0.472	1	#13		39	0	2,560	2,200	5.63	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	1.138	1.138
	0.472	1	#15		39	0	2,560	2,200	5.63	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	1.138	1.138
	0.472	1	#16		39	0	1,650	2,200	3.63	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.734	0.734
	0.472	2	#17		39	0	1,650	1,800	2.97	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.600	0.600
	0.472	2	#18		39	0	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.368	0.368
	0.472	2	#19		39	0	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.368	0.368
	0.472	2	#20		39	0	1,650	450	0.74	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.150	0.150
西	0.518	1	#21		39	1	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.270	0.252	0.238	0.238
	0.518	2	#22		39	0	740	700	0.52	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.930	0.460	0.428	0.116	0.116
(い)窓の日射熱取得量 合計 (W/(W/㎡))																				7.224	

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

▼開口仕様

1:木製又は樹脂製:Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2 日射取得型)

39:木製又は樹脂製:Low-E複層ガラス(A11~A13 日射取得型)

▼遮蔽物

0:遮蔽物なし 1:和障子 2:外付ブラインド

▼日よけ

(規): 規定値4,000mmとして計算

(4m): 4,000mm以上のため、4,000mmとして計算

▼取得日射熱

補正係数fCの(定)は、定数fC=0.93を使用していることを表す。

▼日射熱取得率

η_d : 垂直面日射熱取得率(窓と付属部材の組み合わせで定まる η 値)

η_c : 日射熱取得率 $\eta_d \times fC$

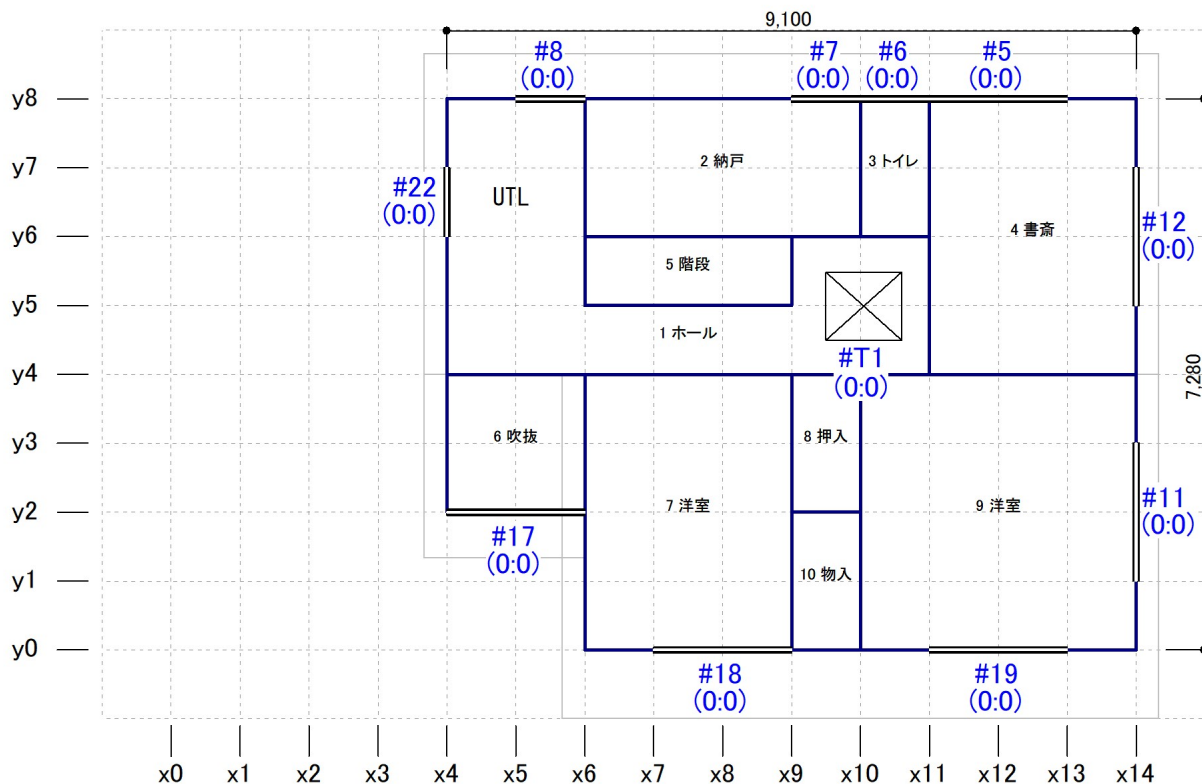
4. 外皮性能算定平面図

日付: 2023年08月07日 17:14:52

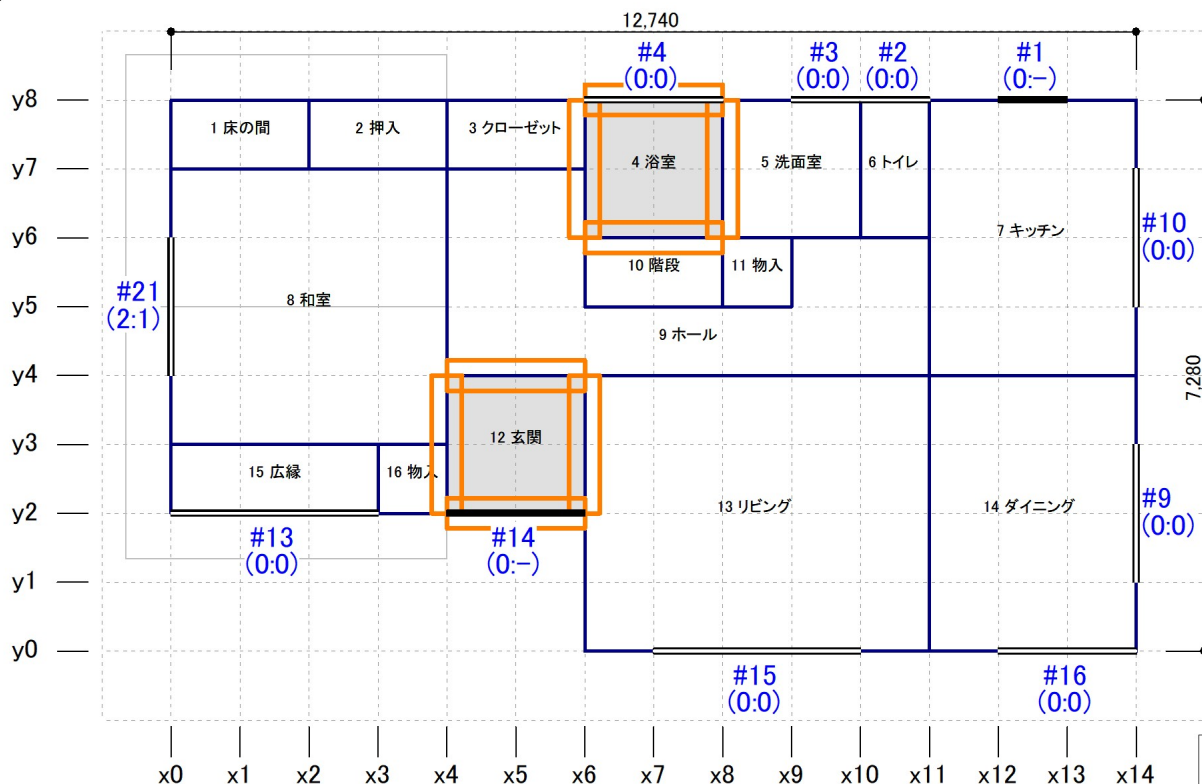
建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

2階



1階



縮尺 1/100

- 【凡例】
- 壁
 - 開口部(ドア)
 - 開口部(窓)
 - トップライト
 - 土間床
 - 小屋裏収納等
 - 庇
 - 基礎断熱範囲(基礎1)
 - 基礎断熱範囲(仕様部分変更)
 - 付属部材:遮蔽物
 - 遮蔽物番号 0:なし 1:シャッターもしくは雨戸 2:障子 3:熱的境界の外にある風除室
 - 遮蔽物番号 0:なし 1:和障子 2:外付ブラインド
 - <0> 熱的境界外の空間 1:外気 2:外気に通じる空間 3:外気に通じていない空間 4:住戸及び住戸と同様の熱的環境の空間 5:住戸

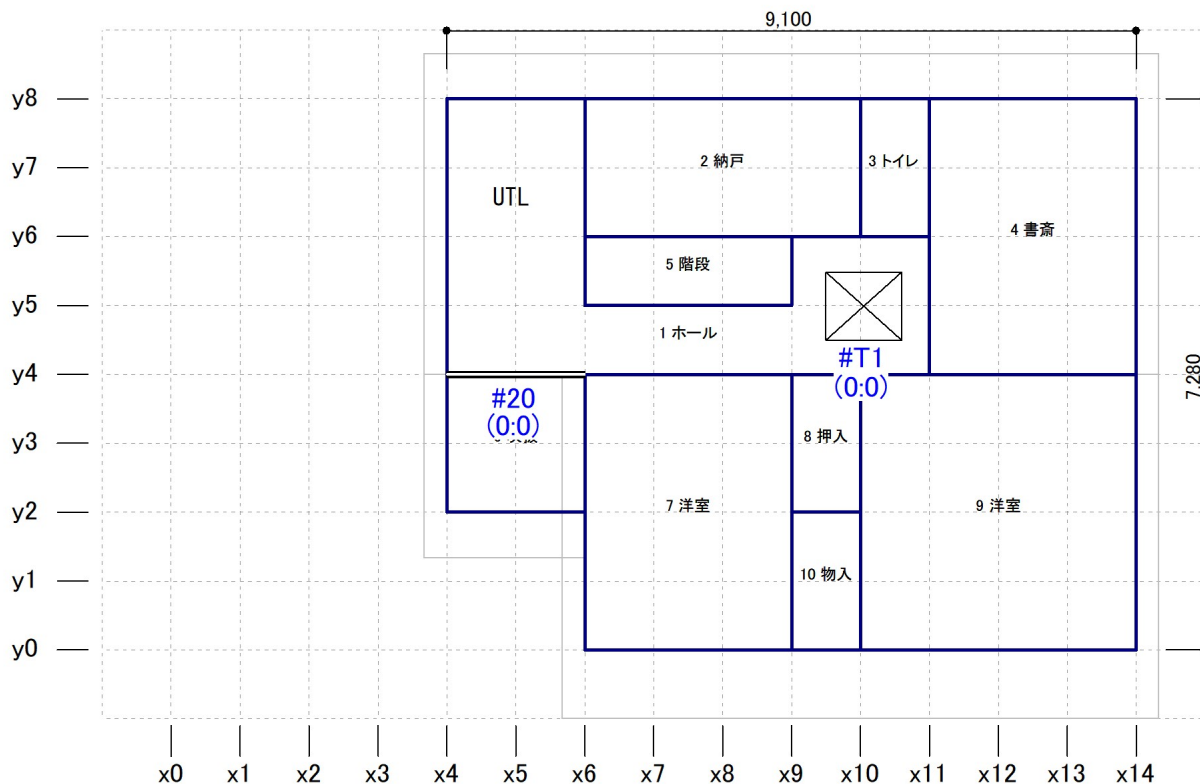
4. 外皮性能算定平面図(高窓)

日付: 2023年08月07日 17:14:52

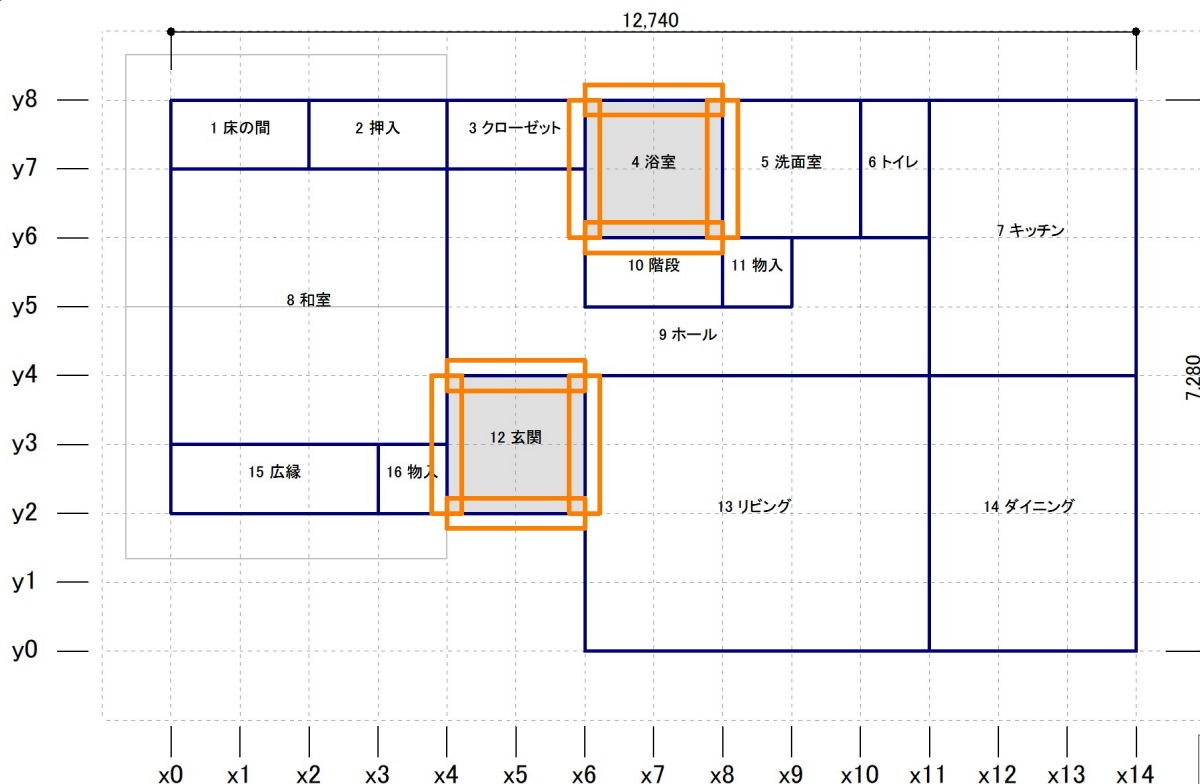
建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

2階



1階



縮尺 1/100



- 【凡例】
- 壁 (Blue line)
 - 開口部(ドア) (Thick black line)
 - 開口部(窓) (Thin black line)
 - トップライト (Crossed square)
 - 土間床 (Grey square)
 - 小屋裏収納等 (Hatched square)
 - 基礎断熱範囲(基礎1) (Orange outline)
 - 基礎断熱範囲(仕様部分変更) (Green outline)
 - 底 (Hatched square)
 - 付属部材:遮蔽物 (Black square)
 - 遮蔽物番号 0:なし 1:シャッターもしくは雨戸 2:障子 3:熱的境界の外にある風除室 (1:2) 付属部材:遮蔽物
 - 遮蔽物番号 0:なし 1:和障子 2:外付ブラインド
 - <0> 熱的境界外の空間 1:外気 2:外気に通じる空間 3:外気に通じていない空間 4:住戸及び住戸と同様の熱的環境の空間 5:住戸

5. 断熱仕様明細表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

断熱仕様No	107	U値 (W/㎡K)	0.25	計算方法	簡略計算法
断熱仕様名	屋根 垂木充填 高性能グラスウール24K200mm				
備考					
構法	木造軸組構法				
使用部位	屋根	通気層有無	有(外気側表面熱伝達抵抗Rse=0.09)		

				面積比率 a					
				断熱部	熱橋部				
				0.860	0.140				
部材名	備考	熱伝導率 λ (W/mK)	厚さ d(mm)	熱抵抗 R = d / λ (㎡K/W)					
室内側表面熱伝達抵抗 Rsi		－	－	0.090	0.090				
垂木－ 天然木材	H25省エネ基準書	0.120	140.0	－	1.167				
垂木間充填断熱材－ 高性能グラスウール断熱材 24K相当	H25省エネ基準書	0.036	200.0	5.556	－				
外気側表面熱伝達抵抗 Rse		－	－	0.090	0.090				
各部分の熱貫流抵抗 (㎡K/W) Rt = Rse + Rsi + ∑ R				5.736	1.347				
各部分の熱貫流率 (W/㎡K) Ui = 1 / Rt				0.174	0.743				
熱貫流率 (W/㎡K) U = ∑ (a × Ui) / ∑ a				0.25					

備考欄に「技術情報」と記載されている部材の出典:

国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」

★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

面積比率aは、簡略計算法 に基づく。

- ・木造軸組構法
- ・工法の種類等: 垂木間に断熱する場合

■表記の説明

- ※ → 断熱材と熱橋部の厚さが異なる場合、熱橋部の厚さは、断熱材の厚み分までを算入します。
断熱材の厚さを超える部分が密閉されている場合は、その部分を密閉空気層とみなして熱貫流率を計算します。
- # → 外張断熱において、断熱材が連続せず熱橋を有しているため、断熱材の熱抵抗Riに0.9を乗じて計算します。

5. 断熱仕様明細表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

断熱仕様No	307	U値 (W/㎡K)	0.42	計算方法	簡略計算法
断熱仕様名	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)				
備考					
構法	木造軸組構法				
使用部位	妻壁	通気層有無	有(外気側表面熱伝達抵抗 $R_{se}=0.11$)		

		面積比率 a							
		断熱部	熱橋部						
		0.830	0.170						
部材名	備考	熱伝導率 λ (W/mK)	厚さ d(mm)	熱抵抗 $R = d / \lambda$ (㎡K/W)					
室内側表面熱伝達抵抗 R_{si}		-	-	0.110	0.110				
※小屋束 - 天然木材	技術情報	0.120	100.0	-	0.833				
充填断熱材 - 高性能グラスウール断熱材 24K相当	技術情報	0.036	100.0	2.778	-				
外装下地材 - 合板	技術情報	0.160	12.0	0.075	0.075				
外気側表面熱伝達抵抗 R_{se}		-	-	0.110	0.110				
各部分の熱貫流抵抗 (㎡K/W)	$R_t = R_{se} + R_{si} + \sum R$			3.073	1.128				
各部分の熱貫流率 (W/㎡K)	$U_i = 1 / R_t$			0.325	0.886				
熱貫流率 (W/㎡K)	$U = \sum (a \times U_i) / \sum a$			0.42					

備考欄に「技術情報」と記載されている部材の出典:

国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」

★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

面積比率aは、簡略計算法 に基づく。

- ・木造軸組構法
- ・工法の種類等: 柱・間柱間に断熱する場合

■表記の説明

- ※ → 断熱材と熱橋部の厚さが異なる場合、熱橋部の厚さは、断熱材の厚み分までを算入します。
断熱材の厚さを超える部分が密閉されている場合は、その部分を密閉空気層とみなして熱貫流率を計算します。
- # → 外張断熱において、断熱材が連続せず熱橋を有しているため、断熱材の熱抵抗 R_i に0.9を乗じて計算します。

5. 断熱仕様明細表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

断熱仕様No	507	U値 (W/㎡K)	0.42	計算方法	簡略計算法
断熱仕様名	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)				
備考					
構法	木造軸組構法				
使用部位	外壁	通気層有無	有(外気側表面熱伝達抵抗Rse=0.11)		

		面積比率 a							
		断熱部	熱橋部						
		0.830	0.170						
部材名	備考	熱伝導率 λ (W/mK)	厚さ d(mm)	熱抵抗 $R = d / \lambda$ (㎡K/W)					
室内側表面熱伝達抵抗 Rsi		-	-	0.110	0.110				
※柱 - 天然木材	技術情報	0.120	100.0	-	0.833				
充填断熱材 - 高性能グラスウール断熱材 24K相当	技術情報	0.036	100.0	2.778	-				
外装下地材 - 合板	技術情報	0.160	12.0	0.075	0.075				
外気側表面熱伝達抵抗 Rse		-	-	0.110	0.110				
各部分の熱貫流抵抗 (㎡K/W)	$R_t = R_{se} + R_{si} + \sum R$			3.073	1.128				
各部分の熱貫流率 (W/㎡K)	$U_i = 1 / R_t$			0.325	0.886				
熱貫流率 (W/㎡K)	$U = \sum (a \times U_i) / \sum a$			0.42					

備考欄に「技術情報」と記載されている部材の出典:

国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」

★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

面積比率aは、簡略計算法 に基づく。

- ・木造軸組構法
- ・工法の種類等: 柱・間柱間に断熱する場合

■表記の説明

- ※ → 断熱材と熱橋部の厚さが異なる場合、熱橋部の厚さは、断熱材の厚み分までを算入します。
断熱材の厚さを超える部分が密閉されている場合は、その部分を密閉空気層とみなして熱貫流率を計算します。
- # → 外張断熱において、断熱材が連続せず熱橋を有しているため、断熱材の熱抵抗Riに0.9を乗じて計算します。

5. 断熱仕様明細表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

断熱仕様No	622	U値 (W/㎡K)	0.31	計算方法	簡略計算法
断熱仕様名	床 根太レス フェノールフォーム90mm				
備考					
構法	木造軸組構法				
使用部位	床	床属性	その他の床		

部材名				面積比率 a						
				断熱部	熱橋部					
				0.850	0.150					
部材名	備考	熱伝導率 λ (W/mK)	厚さ d(mm)	熱抵抗 $R = d / \lambda$ (㎡K/W)						
室内側表面熱伝達抵抗 R_{si}		-	-	0.150	0.150					
床下地材 - 合板	H25省エネ基準書	0.160	24.0	0.150	0.150					
大引 - 天然木材	H25省エネ基準書	0.120	90.0	-	0.750					
大引間充填断熱材 - フェノールフォーム 保温板 1種1号	H25省エネ基準書	0.022	90.0	4.091	-					
外気側表面熱伝達抵抗 R_{se}		-	-	0.150	0.150					
各部分の熱貫流抵抗 (㎡K/W) $R_t = R_{se} + R_{si} + \sum R$				4.541	1.200					
各部分の熱貫流率 (W/㎡K) $U_i = 1 / R_t$				0.220	0.833					
熱貫流率 (W/㎡K) $U = \sum (a \times U_i) / \sum a$				0.31						

備考欄に「技術情報」と記載されている部材の出典:

国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」

★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

面積比率aは、簡略計算法 に基づく。

- ・木造軸組構法
- ・工法の種類等: 剛床工法

■表記の説明

- ※ → 断熱材と熱橋部の厚さが異なる場合、熱橋部の厚さは、断熱材の厚み分までを算入します。
断熱材の厚さを超える部分が密閉されている場合は、その部分を密閉空気層とみなして熱貫流率を計算します。
- # → 外張断熱において、断熱材が連続せず熱橋を有しているため、断熱材の熱抵抗Rに0.9を乗じて計算します。

6. 断熱仕様別面積計算表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

分類	部材名	方位	階	区画	面積(㎡)	部材・方向別 面積合計(㎡)	部材別 面積合計(㎡)			
屋根	屋根 垂木充填 高性能グラスウール24K200mm	上面	1	A	22.2195792	91.58	91.58			
			2	B	11.1097896					
				C	58.2522112					
外壁/妻壁	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm（内装下地材なし）	北	1	A1	30.8750000	52.10	156.36			
			2	B1	21.2230000					
		東	1	C1	17.3460000	35.42				
			2	D1	18.0740000					
		南	1	E1	5.5900000	34.86				
				F1	10.3940000					
			2	G1	2.1260000					
				H1	16.7540000					
		西	1	J1	12.9270000	33.98				
				K1	4.9140000					
			2	L1	1.6671250					
				L2	1.8632250					
				L3	7.5132000					
				M1	5.0960000					
		妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm（内装下地材なし）	東	2	D2	6.6248000		6.62	17.89	
			南	2(妻壁)	I1	0.9137000		0.91		
	西		1	J2	3.7264500	10.35				
			2	L4	0.8281000					
				L5	3.3124000					
				M2	0.8281000					
				M3	0.8281000					
	M4	0.8281000								
	窓	木製又は樹脂製：Low-E複層ガラス(A11～A13 日射取得型)	北	1	#2	0.5180000	6.45	35.64		
#3					0.5180000					
#4					1.1550000					
2				#5	1.8150000					
				#6	0.8140000					
				#7	0.8140000					
				#8	0.8140000					
				東	1	#9			1.1550000	4.62
#10			1.1550000							
2			#11		1.1550000					
			#12		1.1550000					
南			1	#13	5.6320000	22.24				
				#15	5.6320000					
				#16	3.6300000					
			2	#17	2.9700000					
				#18	1.8150000					
				#19	1.8150000					
			2(妻壁)	#20	0.7425000					
				西	1		#21		1.8150000	2.33
2			#22_1		0.1961000					
			#22_2		0.3219000					
トップライト			木製又は樹脂製：Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2 日射取得型)	上面	2	#T1	1.0000000		1.00	1.00
ドア			(ドア)金属製熱遮断構造(フラッシュ構造)ポストなし	北	1	#1	1.3320000		1.33	4.85
	南	1		#14	3.5200000	3.52				
床	床 根太レス フェノールフォーム90mm	下面	1	a	19.8744000	76.19	76.19			
				b	6.6248000					

※「区画」は外皮等面積根拠図および外皮等面積計算表を参照

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

6. 断熱仕様別面積計算表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

分類	部材名	方位	階	区画	面積 (㎡)	部材・方向別 面積合計 (㎡)	部材別 面積合計 (㎡)
				c	9.9372000		
				d	39.7488000		

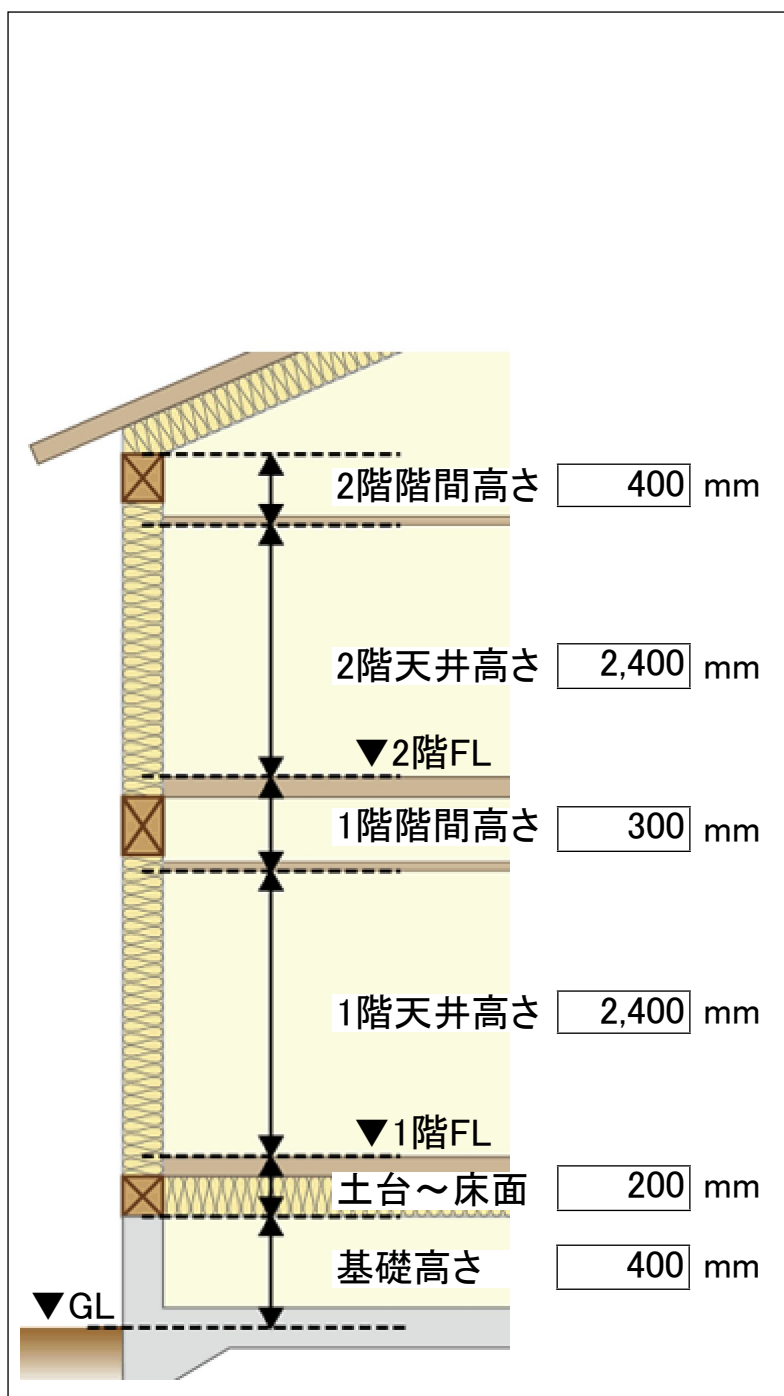
7. 建物の基準高さ

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

各階の天井高さ、階間高さ等は以下の寸法で設計しています。
部分的に天井高さが異なる範囲については、「8. 屋根・天井設定図」を参照してください。



- 最上階の階間高さ : 最上階の天井下端～桁上端
- 階間高さ : 当該階の天井下端～上階の床上端
- 天井高さ : 当該階の床上端～当該階の天井下端
- 土台～床面 : 基礎立ち上り上端～1階の床上端
- 基礎高さ : GL～基礎立ち上り上端

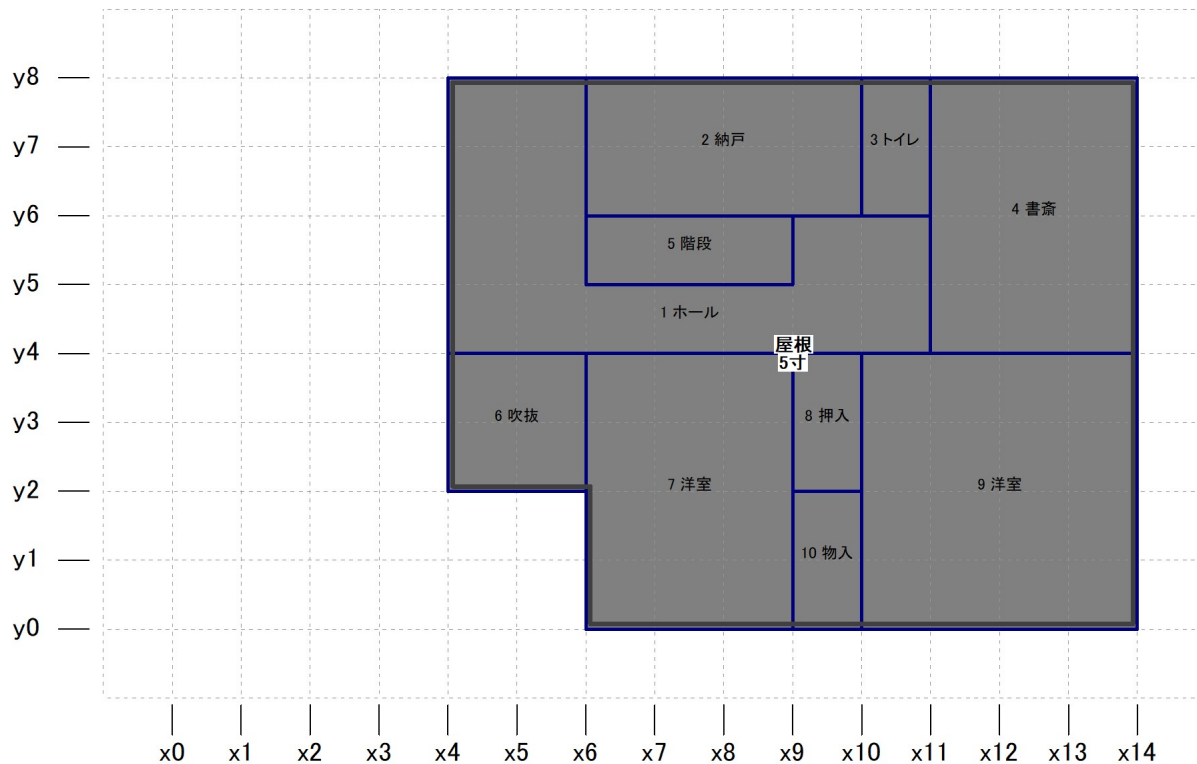
8. 屋根・天井設定図

日付: 2023年08月07日 17:14:52

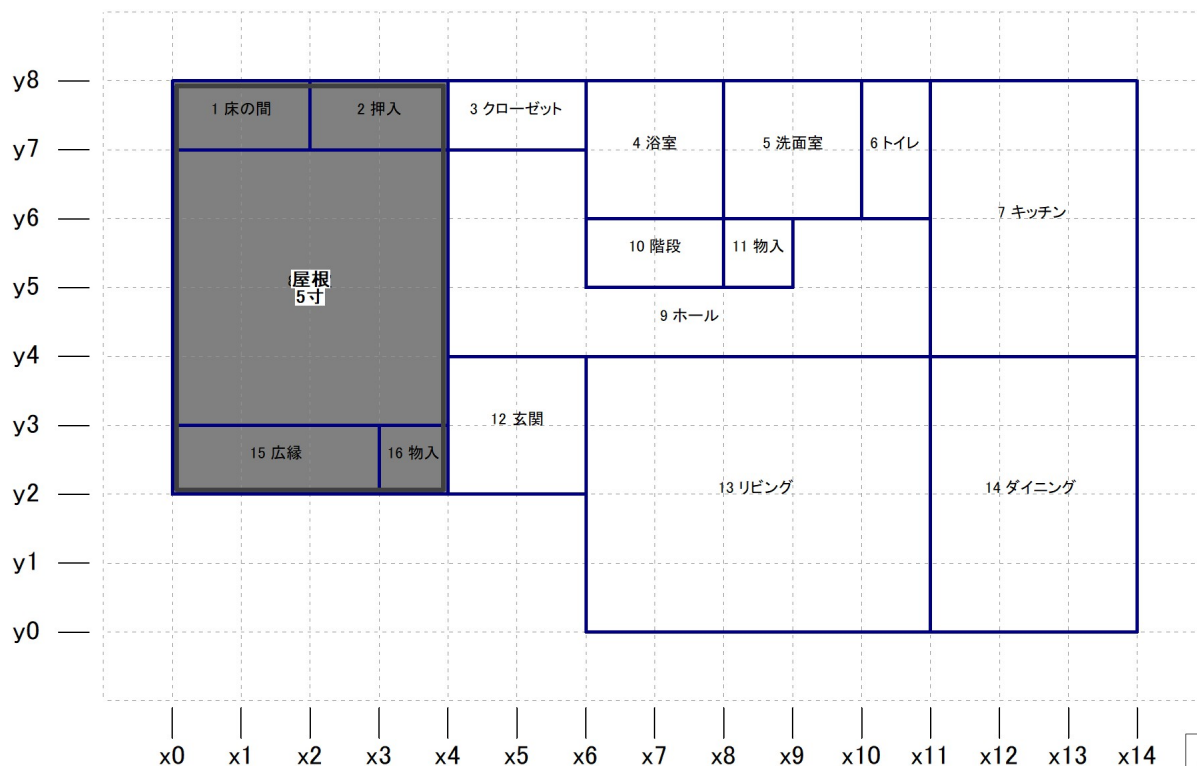
建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

2階



1階



縮尺 1/100

【凡例】 ■ 屋根断熱範囲 □ 天井断熱範囲 ▨ バルコニー下断熱範囲



9. 外皮等面積計算表（屋根・天井）

日付：2023年08月07日 17:14:52

建物コード：000001

建物名：省エネサンプルプラン

【屋根面積 計算表】

階	区画	勾配(寸)	計算式	面積(㎡)
1	A	5.00	$3.640 \times 5.460 \times 1.118$	22.2195792
2	B	5.00	$1.820 \times 5.460 \times 1.118$	11.1097896
	C	5.00	$7.280 \times 7.280 \times 1.118 - \#T1[1.0000000]$	58.2522112
合計				91.5815800

※計算式内の#T1、#T2...はトップライトの実面積とする（[]内が計算に使用される値）

9. 外皮等面積計算表 (外壁)

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【外壁面積 計算表】

方位	階	分類	区画	計算式	面積(m ²)		
北	1	外壁	A1	12.740×2.700－＃1－＃2－＃3－＃4	30.8750000		
	2	外壁	B1	9.100×2.800－＃5－＃6－＃7－＃8	21.2230000		
東	1	外壁	C1	7.280×2.700－＃9－＃10	17.3460000		
	2	外壁	D1	7.280×2.800－＃11－＃12	18.0740000		
		妻壁	D2	7.280×1.820÷2	6.6248000		
南	1	外壁	E1	5.460×2.700－＃13－＃14	5.5900000		
		外壁	F1	7.280×2.700－＃15－＃16	10.3940000		
	2	外壁	G1	1.820×2.800－＃17	2.1260000		
		外壁	H1	7.280×2.800－＃18－＃19	16.7540000		
	2(妻壁)	妻壁	I1	1.820×0.910－＃20	0.9137000		
	西	1	外壁	J1	5.460×2.700－＃21	12.9270000	
妻壁			J2	5.460×1.365÷2	3.7264500		
外壁			K1	1.820×2.700	4.9140000		
2		外壁	L1	2.730×1.365÷2－＃22_1	1.6671250		
			L2	2.730×1.365÷2	1.8632250		
			L3	5.460×1.435－＃22_2	7.5132000		
		妻壁	L4	1.820×0.910÷2	0.8281000		
			L5	3.640×1.820÷2	3.3124000		
		外壁	M1	1.820×2.800	5.0960000		
			妻壁	M2	1.820×0.910÷2	0.8281000	
		M3		1.820×0.910÷2	0.8281000		
					0.8281000		
		M4		1.820×0.910÷2	0.8281000		
		合計					174.2523000

【開口面積 計算表】

方位	階	分類	区画	計算式	面積(m ²)
北	1	ドア	#1	0.740×1.800	1.3320000
		窓	#2	0.740×0.700	0.5180000
		窓	#3	0.740×0.700	0.5180000
		窓	#4	1.650×0.700	1.1550000
	2	窓	#5	1.650×1.100	1.8150000
		窓	#6	0.740×1.100	0.8140000
		窓	#7	0.740×1.100	0.8140000
		窓	#8	0.740×1.100	0.8140000
東	1	窓	#9	1.650×0.700	1.1550000
		窓	#10	1.650×0.700	1.1550000
	2	窓	#11	1.650×0.700	1.1550000
		窓	#12	1.650×0.700	1.1550000
南	1	窓	#13	2.560×2.200	5.6320000
		ドア	#14	1.600×2.200	3.5200000
		窓	#15	2.560×2.200	5.6320000
		窓	#16	1.650×2.200	3.6300000
	2	窓	#17	1.650×1.800	2.9700000
		窓	#18	1.650×1.100	1.8150000
		窓	#19	1.650×1.100	1.8150000
	2(妻壁)	高窓	#20	1.650×0.450	0.7425000
西	1	窓	#21	1.650×1.100	1.8150000
	2	窓	#22_1	0.740×0.265	0.1961000
		窓	#22_2	0.740×0.435	0.3219000
合計					40.4895000

9. 外皮等面積計算表(床・土間床・基礎)

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【床面積 計算表】

階	区画	計算式	面積(m ²)
1	a	3.640×5.460	19.8744000
	b	1.820×3.640	6.6248000
	c	1.820×5.460	9.9372000
	d	5.460×7.280	39.7488000
合計			76.1852000

【土間床面積 計算表】

区画	計算式	面積(m ²)
Da	1.820×1.820	3.3124000
Db	1.820×1.820	3.3124000
合計		6.6248000

【基礎周長 計算表】

区画	基礎長さ(m)
A	1.8200000
B	1.8200000
C	1.8200000
D	1.8200000
E	1.8200000
F	1.8200000
G	1.8200000
H	1.8200000
合計	14.5600000

※基礎高さ0.4m以下のため、基礎は外皮面積に含めない。

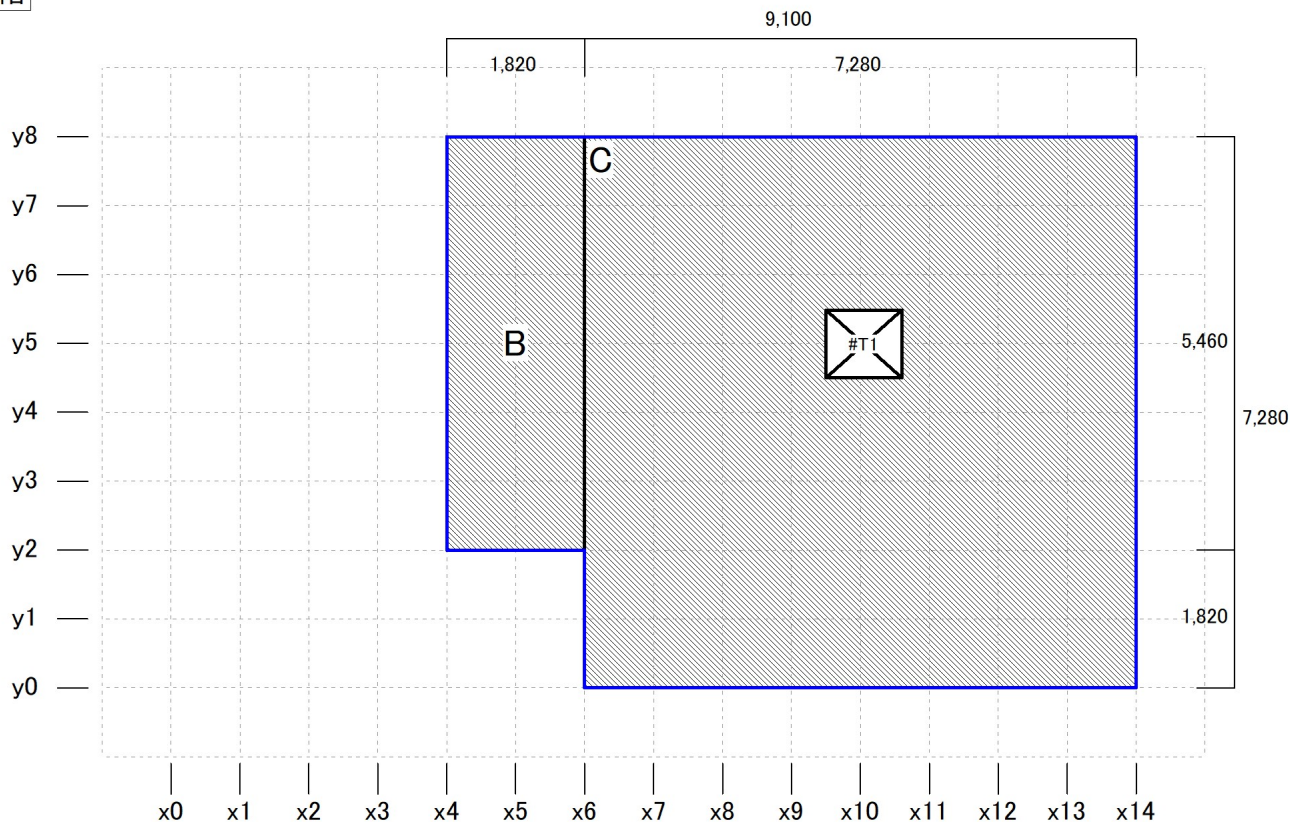
10. 外皮等面積根拠図 (屋根・天井)

日付: 2023年08月07日 17:14:52

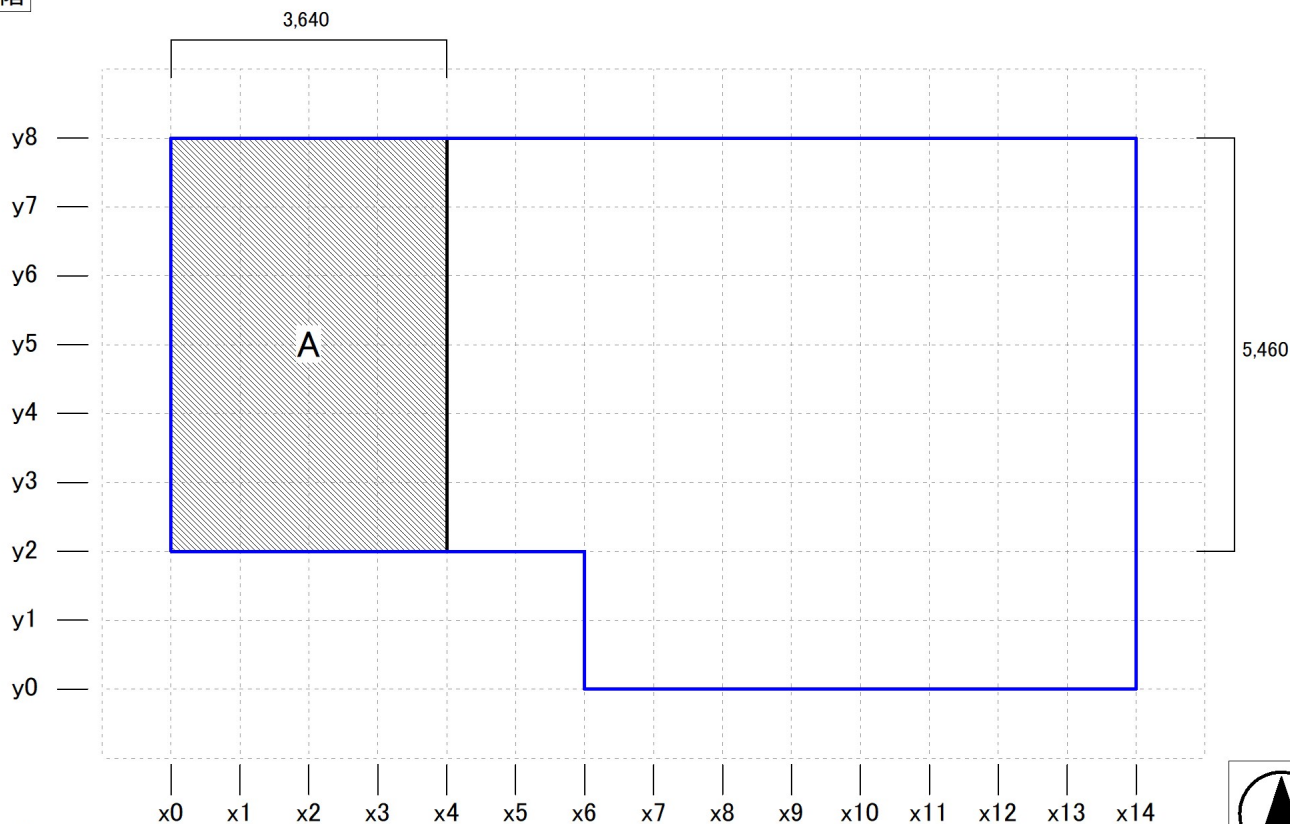
建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

2階



1階



縮尺 1/100



【凡例】 天井断熱範囲 屋根断熱範囲 外周線 トップライト
 バルコニー下天井断熱範囲 バルコニー下梁桁間断熱範囲

＜プラン1＞

10. 外皮等面積根拠図 (外壁<東>)

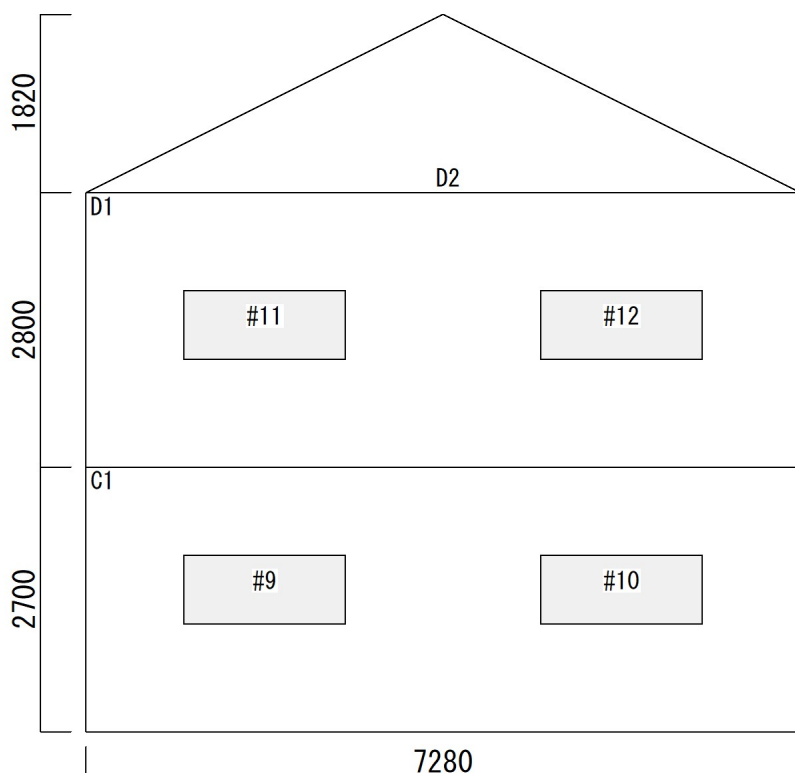
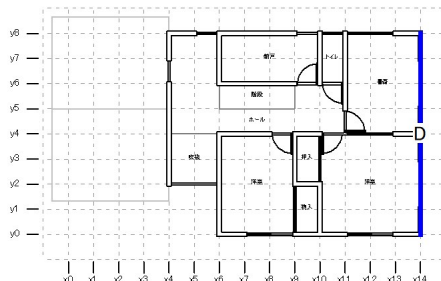
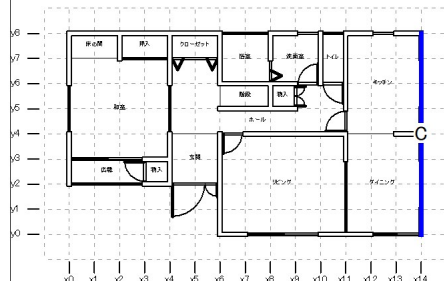
日付:2023年08月07日 17:14:52

建物コード:000001

建物名:省エネサンプルプラン

1階壁

2階壁・1階屋根



アルファベット大文字(A1、A2・・・):外壁 #数字(#1、#2・・・):開口部

10. 外皮等面積根拠図 (外壁<南>)

日付:2023年08月07日 17:14:52

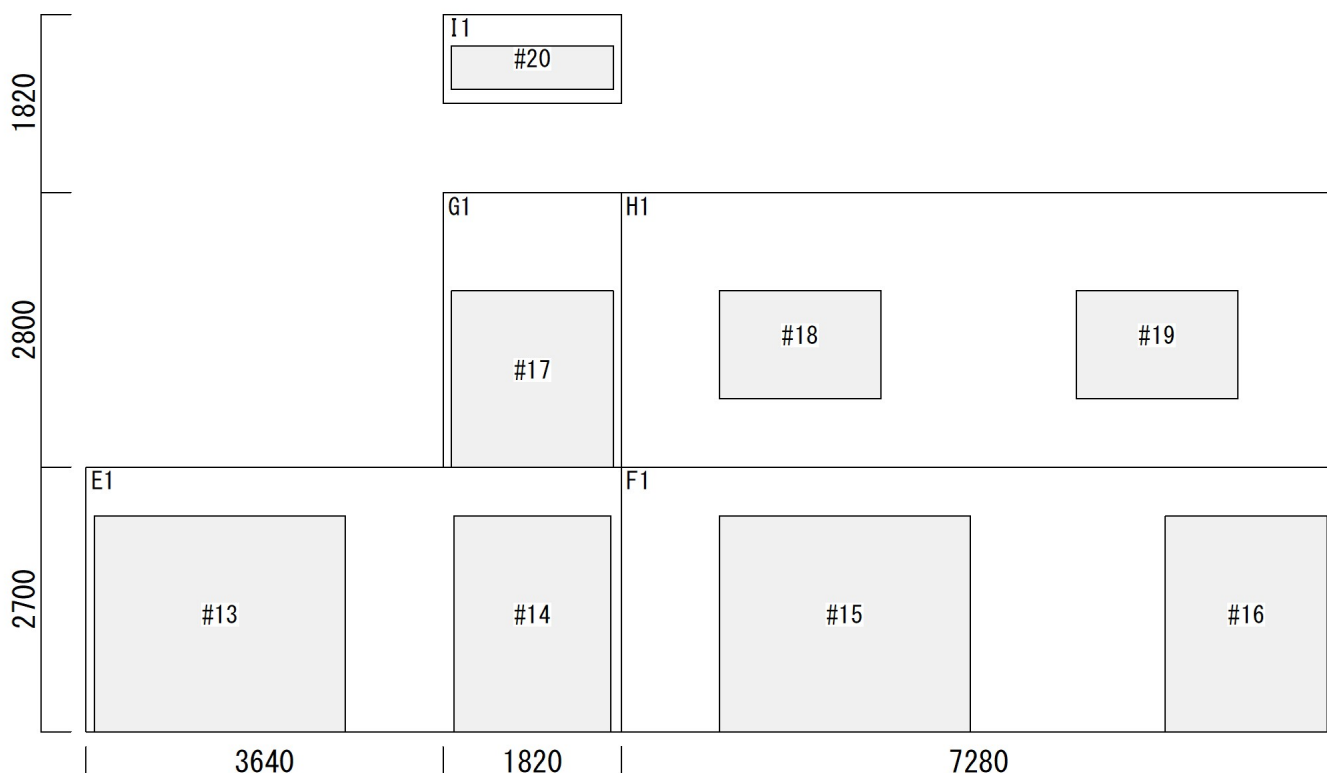
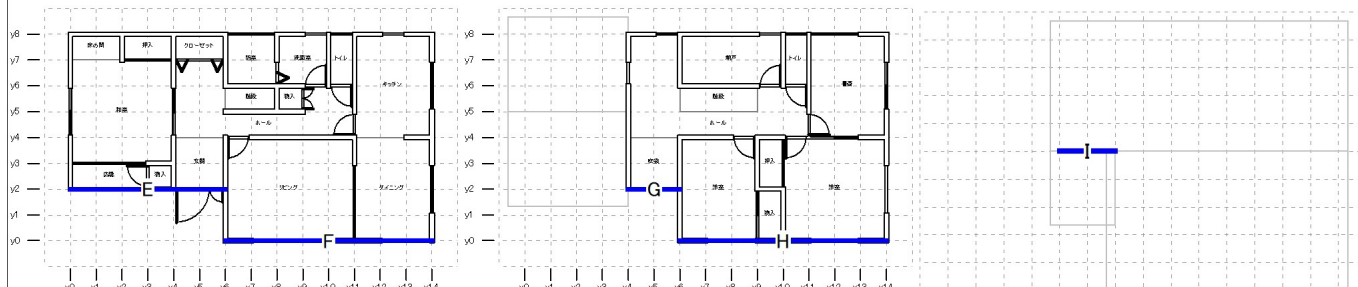
建物コード:000001

建物名:省エネサンプルプラン

1階壁

2階壁・1階屋根

2階屋根



10. 外皮等面積根拠図 (外壁<西>)

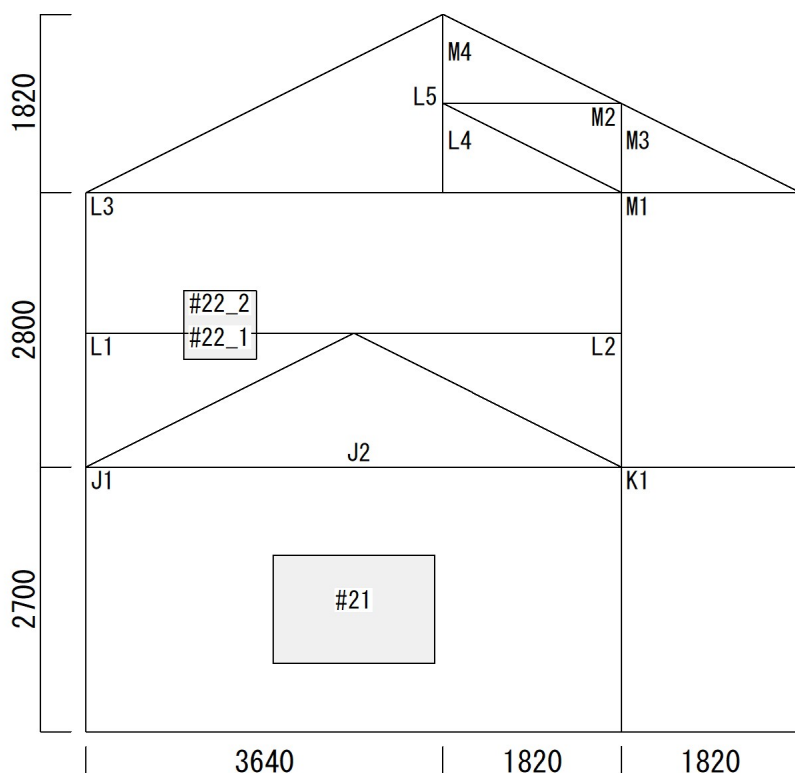
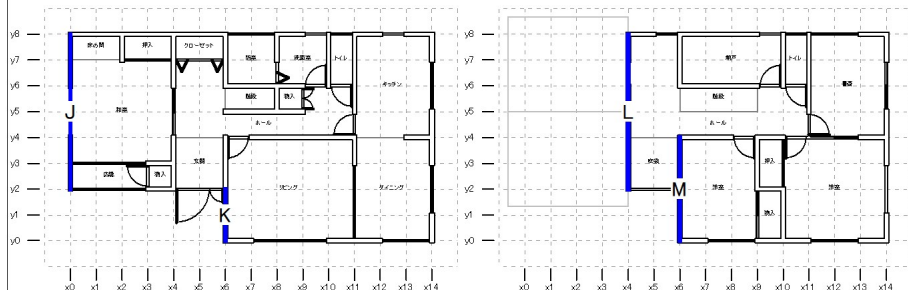
日付:2023年08月07日 17:14:52

建物コード:000001

建物名:省エネサンプルプラン

1階壁

2階壁・1階屋根



アルファベット大文字(A1、A2・・・):外壁 #数字(#1、#2・・・):開口部

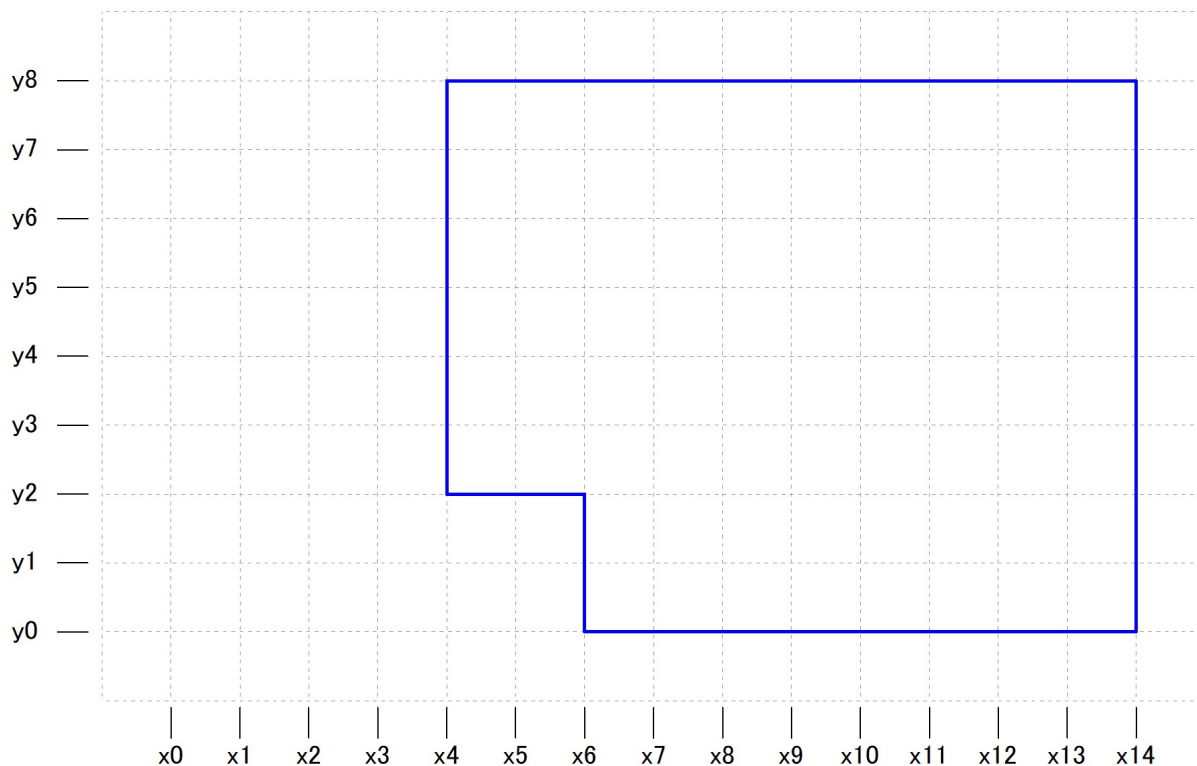
10. 外皮等面積根拠図 (床・土間床・基礎)

日付: 2023年08月07日 17:14:52

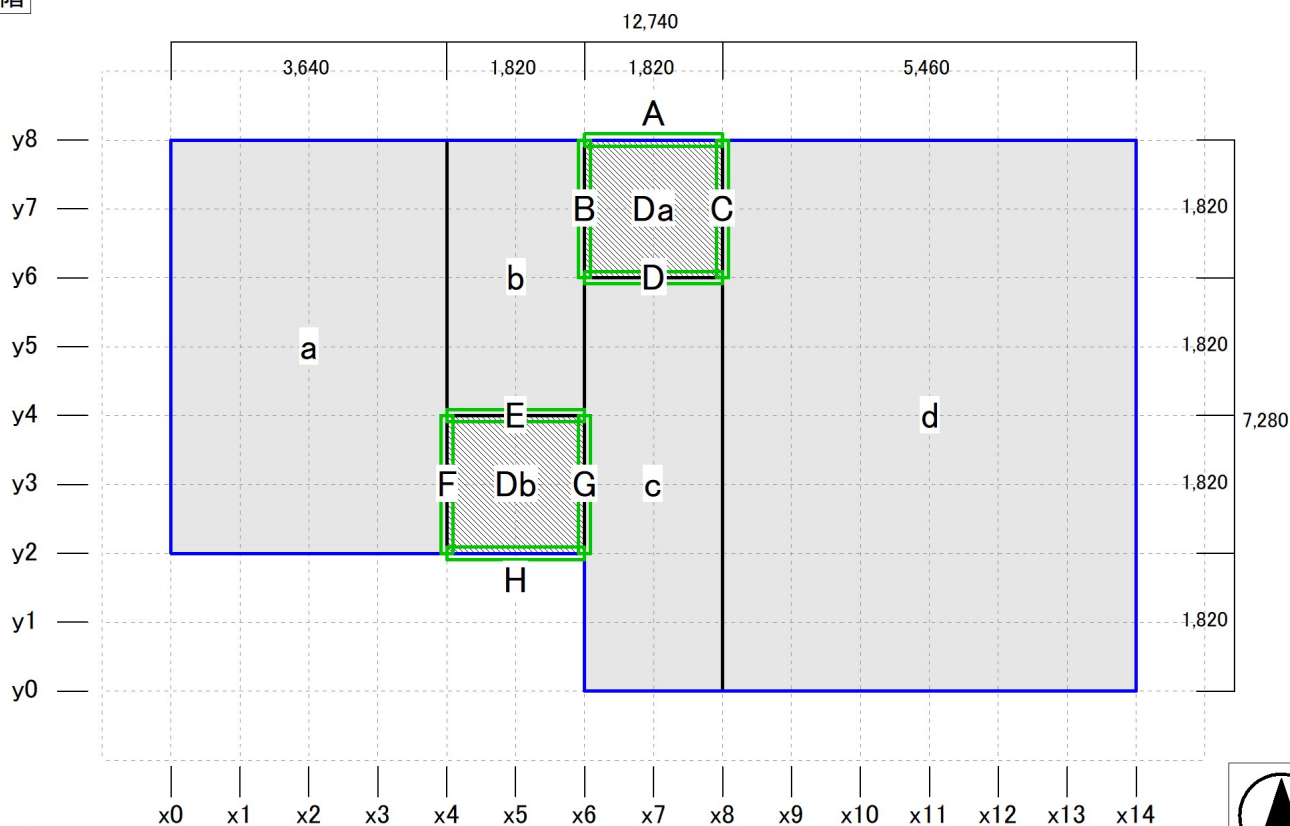
建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

2階



1階



縮尺 1/100

【凡例】 床断熱範囲 土間床範囲 基礎立上り 外周線



【算定条件】

▼基本情報

床 面 積	主たる居室 (㎡)	36.44
	その他の居室 (㎡)	46.37
	床面積の合計 (㎡) ※床面積の合計には非居室を含みます	145.75
省エネルギー基準地域区分		5地域
年間日射地域区分 (参考)		A3区分

▼外皮性能

外皮等面積の合計 ΣA (㎡)	390.13
外皮平均熱貫流率 UA値 (W/㎡K)	0.55
冷房期の平均日射取得率 η_{AC} ((W/㎡)/(W/㎡))	2.4
暖房期の平均日射取得率 η_{AH} ((W/㎡)/(W/㎡))	2.3

12. 居室面積計算表

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【床面積根拠】

合計	主たる居室(m ²)	その他の居室(m ²)	非居室(m ²)
居室分類ごとの床面合計 (m ²)	36.44	46.37	62.94
床面積の合計 (m ²)	145.75		

階	部屋名	計算式	主たる居室(m ²)	その他の居室(m ²)	非居室(m ²)
1	7 キッチン	2.730 × 3.640	9.937200	-	-
	13 リビング	4.550 × 3.640	16.562000	-	-
	14 ダイニング	2.730 × 3.640	9.937200	-	-
2	4 書斎	2.730 × 3.640	-	9.937200	-
	7 洋室	2.730 × 3.640	-	9.937200	-
	9 洋室	3.640 × 3.640	-	13.249600	-
1	8 和室	3.640 × 3.640	-	13.249600	-
2	1 ホール	1.820 × 1.820 + 1.820 × 3.640 + 2.730 × 0.910	-	-	12.421500
	2 納戸	3.640 × 1.820	-	-	6.624800
	3 トイレ	0.910 × 1.820	-	-	1.656200
	5 階段	2.730 × 0.910	-	-	2.484300
	6 吹抜	1.820 × 1.820	-	-	3.312400
	8 押入	0.910 × 1.820	-	-	1.656200
	10 物入	0.910 × 1.820	-	-	1.656200
1	1 床の間	1.820 × 0.910	-	-	1.656200
	2 押入	1.820 × 0.910	-	-	1.656200
	3 クローゼット	1.820 × 0.910	-	-	1.656200
	4 浴室	1.820 × 1.820	-	-	3.312400
	5 洗面室	1.820 × 1.820	-	-	3.312400
	6 トイレ	0.910 × 1.820	-	-	1.656200
	9 ホール	1.820 × 1.820 + 2.730 × 0.910 + 1.820 × 2.730	-	-	10.765300
	10 階段	1.820 × 0.910	-	-	1.656200
	11 物入	0.910 × 0.910	-	-	0.828100
	12 玄関	1.820 × 1.820	-	-	3.312400
	15 広縁	2.730 × 0.910	-	-	2.484300
	16 物入	0.910 × 0.910	-	-	0.828100
2階合計(m ²)			0.000000	33.124000	29.811600
1階合計(m ²)			36.436400	13.249600	33.124000
建物合計(m ²)			36.436400	46.373600	62.935600

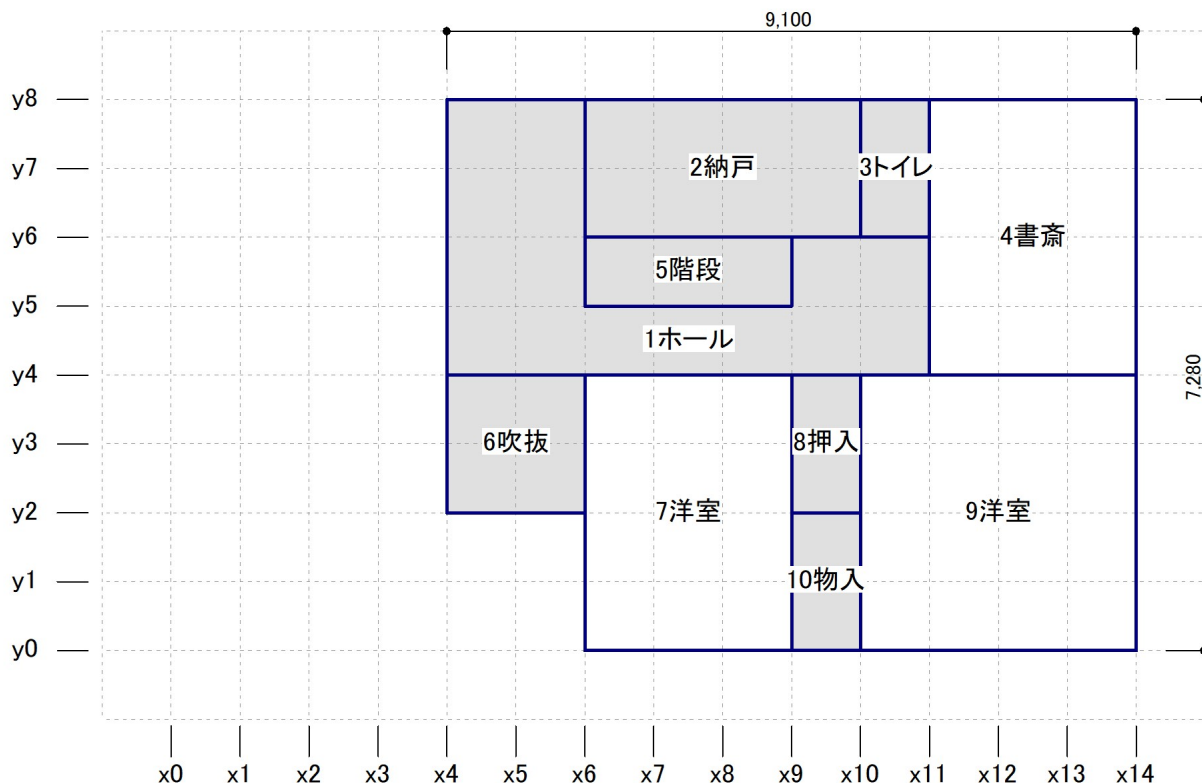
13. 居室面積根拠図

日付: 2023年08月07日 17:14:52

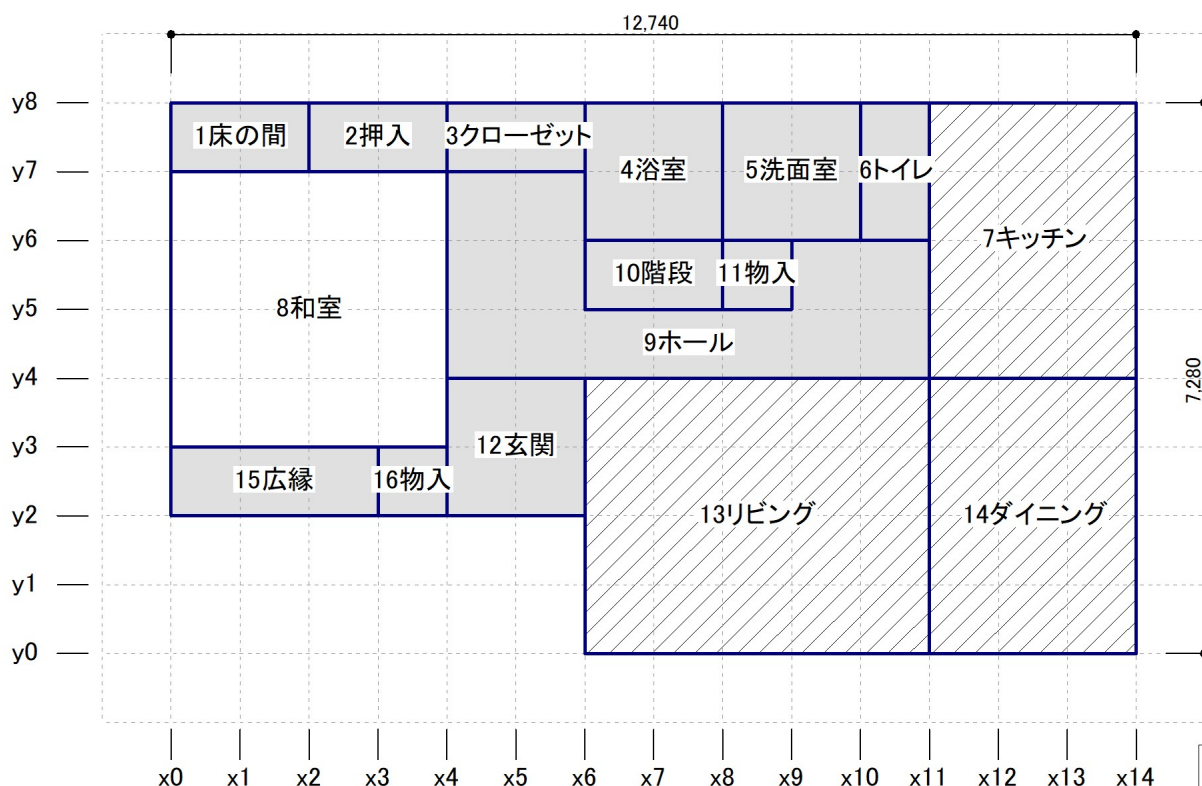
建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

2階



1階



縮尺 1/100

【凡例】 主たる居室 その他の居室 非居室

床面積 主たる居室: 36.44㎡ その他の居室: 46.37㎡ 非居室: 62.94㎡ 合計: 145.75㎡

14. 暖房期の平均日射熱取得率
(η_{AH} 値)計算表<1>

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

外皮等面積の合計 ΣA (㎡)	390.13
(は)窓の日射熱取得量 (W/(W/㎡))	6.593
(に)窓以外の日射熱取得量 (W/(W/㎡))	2.397
暖房期の日射熱取得量 $mH = (は) + (に)$ (W/(W/㎡))	8.99
暖房期の平均日射熱取得率 $\eta_{AH} = mH / \Sigma A \times 100$ ((W/㎡)/(W/㎡))	2.3

【窓以外の日射熱取得量】

方位	方位 係数 ν_H	仕様	外皮等 面積 A (㎡)	熱貫 流率 U (W/㎡K)	日射熱 取得率 η_H (W/㎡)/(W/㎡)	日射熱 取得量 $A \cdot \eta_H \cdot \nu_H$ (W/(W/㎡))
上面	1.000	屋根 垂木充填 高性能グラスウール24K200mm	91.58	0.25	0.009	0.824
北	0.238	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	52.10	0.42	0.014	0.173
	0.238	(ドア)金属製熱遮断構造(フラッシュ構造)ポストなし	1.33	1.90	0.065	0.020
東	0.568	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	35.42	0.42	0.014	0.281
	0.568	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	6.62	0.42	0.014	0.052
南	0.983	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	34.86	0.42	0.014	0.479
	0.983	(ドア)金属製熱遮断構造(フラッシュ構造)ポストなし	3.52	1.90	0.065	0.224
	0.983	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	0.91	0.42	0.014	0.012
西	0.538	外壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	33.98	0.42	0.014	0.255
	0.538	妻壁 大壁充填 高性能グラスウール24K100mm(内装下地材なし)	10.35	0.42	0.014	0.077
下面	0.000	床 根太レス フェノールフォーム90mm	76.19	0.31	0.011	0.000
(に)窓以外の日射熱取得量 合計 (W/(W/㎡))						2.397

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

日射熱取得率 η_H $\eta_H = 0.034 \times f_a \times f_{shH} \times U$ (暖房期の日よけ効果係数 f_{shH} および 外気側表面に応じた係数 f_a は1.0として計算)▼暖房期の方位係数 ν_H

方位	省エネルギー基準地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
屋根・上面	1.000							
北	0.260	0.263	0.284	0.256	0.238	0.261	0.227	—
北東	0.333	0.341	0.348	0.330	0.310	0.325	0.281	—
東	0.564	0.554	0.540	0.531	0.568	0.579	0.543	—
南東	0.823	0.766	0.751	0.724	0.846	0.833	0.843	—
南	0.935	0.856	0.851	0.815	0.983	0.936	1.023	—
南西	0.790	0.753	0.750	0.723	0.815	0.763	0.848	—
西	0.535	0.544	0.542	0.527	0.538	0.523	0.548	—
北西	0.325	0.341	0.351	0.326	0.297	0.317	0.284	—
下面	0.000							

14. 暖房期の平均日射熱取得率 (η AH値)計算表<2>

日付: 2023年08月07日 17:14:52

建物コード: 000001

建物名: 省エネサンプルプラン

【窓の日射熱取得量】

方位	方位 係数 α_f	階	窓 番号	開口名	開口 仕様	遮蔽 物	窓幅 X2 (mm)	窓 高さ Y2 (mm)	外皮等 面積 A (㎡)	日よけ						取得日射熱 補正係数			日射熱 取得率		日射熱 取得量 $A \cdot \eta_f \cdot \alpha_f$ (W/(W/㎡))
										距離			長さ			fshH	fangH	fH	η_d	η_H	
										X1 (mm)	X3 (mm)	Y1 (mm)	Zx+ (mm)	Zx- (mm)	Zy+ (mm)						
上面	1.000	2	#T1		1	0	1,000	1,000	1.00	-	-	-	-	-	-	1.000	0.794	0.794	0.390	0.309	0.309
北	0.238	1	#2		39	0	740	700	0.52	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.028	0.028
	0.238	1	#3		39	0	740	700	0.52	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.028	0.028
	0.238	1	#4		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.064	0.064
	0.238	2	#5		39	0	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.101	0.101
	0.238	2	#6		39	0	740	1,100	0.81	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.045	0.045
	0.238	2	#7		39	0	740	1,100	0.81	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.045	0.045
	0.238	2	#8		39	0	740	1,100	0.81	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.045	0.045
東	0.568	1	#9		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.154	0.154
	0.568	1	#10		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.154	0.154
	0.568	2	#11		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.154	0.154
	0.568	2	#12		39	0	1,650	700	1.16	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.154	0.154
南	0.983	1	#13		39	0	2,560	2,200	5.63	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	1.295	1.295
	0.983	1	#15		39	0	2,560	2,200	5.63	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	1.295	1.295
	0.983	1	#16		39	0	1,650	2,200	3.63	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.834	0.834
	0.983	2	#17		39	0	1,650	1,800	2.97	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.683	0.683
	0.983	2	#18		39	0	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.418	0.418
	0.983	2	#19		39	0	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.418	0.418
	0.983	2	#20		39	0	1,650	450	0.74	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.170	0.170
西	0.538	1	#21		39	1	1,650	1,100	1.82	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.270	0.137	0.134	0.134
	0.538	2	#22		39	0	740	700	0.52	-	-	-	-	-	-	-	(定)0.510	0.460	0.234	0.065	0.065
(は)窓の日射熱取得量 合計 (W/(W/㎡))																				6.593	

※★マーク付きで、網掛けの項目は設計者が任意に追加した仕様

▼開口仕様

1:木製又は樹脂製:Low-E三層複層(Low-E2枚 G13以上×2 日射取得型)

39:木製又は樹脂製:Low-E複層ガラス(A11~A13 日射取得型)

▼遮蔽物

0: 遮蔽物なし 1: 和障子 2: 外付ブラインド

▼日よけ

(規): 規定値4,000mmとして計算

(4m): 4,000mm以上のため、4,000mmとして計算

▼取得日射熱

補正係数fHの(定)は、定数fH=0.51を使用していることを表す。

▼日射熱取得率

η_d : 垂直面日射熱取得率(窓と付属部材の組み合わせで定まる η 値)

η_H : 日射熱取得率 $\eta_d \times fH$

住宅省エネルギー性能証明書

証明申請者	住 所	茨城県つくば市〇〇
	氏 名	〇〇 〇〇
家屋番号及び所在地		茨城県つくば市△△
家 屋 調 査 日		年 月 日
省エネルギー性能	居住用家屋の新築等に係る家屋	☒ ①租税特別措置法施行令第26条第23項(同条第32項において準用する場合を含む。以下同じ。)に規定するエネルギーの使用の合理化に著しく資する住宅の用に供する家屋に該当 ※次の全ての基準に適合する住宅用の家屋 ・評価方法基準第5の5の5-1(3)の等級5以上の基準(結露の発生を防止する対策に関する基準を除く。) ・評価方法基準第5の5の5-2(3)の等級6以上の基準 ☐ ②租税特別措置法施行令第26条第24項(同条第32項において準用する場合を含む。以下同じ。)に規定するエネルギーの使用の合理化に資する住宅の用に供する家屋に該当 ※次の全ての基準に適合する住宅用の家屋(①に該当する場合を除く。) ・評価方法基準第5の5の5-1(3)の等級4以上の基準(結露の発生を防止する対策に関する基準を除く。) ・評価方法基準第5の5の5-2(3)の等級4以上の基準
	既存住宅	☐ ③租税特別措置法施行令第26条第23項に規定するエネルギーの使用の合理化に著しく資する住宅の用に供する家屋に該当 ※次の全ての基準に適合する住宅用の家屋 ・評価方法基準第5の5の5-1(4)の等級5以上の基準(結露の発生を防止する対策に関する基準を除く。) ・評価方法基準第5の5の5-2(4)の等級6以上の基準 ☐ ④租税特別措置法施行令第26条第24項に規定するエネルギーの使用の合理化に資する住宅の用に供する家屋に該当 ※次の全ての基準に適合する住宅用の家屋(③に該当する場合を除く。) ・評価方法基準第5の5の5-1(4)の等級4以上の基準(結露の発生を防止する対策に関する基準を除く。) ・評価方法基準第5の5の5-2(4)の等級4以上の基準

上記の住宅の用に供する家屋が租税特別措置法施行令第26条第23項に規定するエネルギーの使用の合理化に著しく資する住宅の用に供する家屋又は同条第24項に規定するエネルギーの使用の合理化に資する住宅の用に供する家屋として国土交通大臣が財務大臣と協議して定める基準に適合することを証明します。

証 明 年 月 日	2023年08月07日
-----------	-------------

証明を行った建築士、指定確認検査機関、登録住宅性能評価機関又は住宅瑕疵担保責任保険法人	氏名又は名称		〇〇 〇〇			印	
	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	一級建築士	登 録 番 号		123456789		
		登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）					
	指定確認検査機関、登録住宅性能評価機関又は住宅瑕疵担保責任保険法人の場合	住 所					
		指 定 ・ 登 録 年 月 日					
指定・登録番号（指定確認検査機関又は登録住宅性能評価機関の場合）							
建築士が証明を行った場合の当該建築士の属する建築士事務所	名 称		(株)インテグラル一級建築士事務所				
	所 在 地		茨城県つくば市				
	一級建築士事務所、二級建築士事務所又は木造建築士事務所の別		一級建築士事務所				
	登録年月日及び登録番号		2020年01月01日 123456789				
指定確認検査機関が証明を行った場合の調査を行った建築士又は建築基準適合判定資格者	氏 名						
	建 築 士 の 場 合	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登 録 番 号				
			登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）				
	建築基準適合判定資格者の場合			登 録 番 号			
登録住宅性能評価機関が証明を行った場合の調査を行った建築士又は建築基準適合判定資格者検定合格者	氏 名						
	建 築 士 の 場 合	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登 録 番 号				
			登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）				
	建築基準適合判定資格者			合格通知日付又は合格証書日付			
検定合格者の場合			合格通知番号又は合格証書番号				
住宅瑕疵担保責任保険法人が証明を行った場合の調査を行った建築士又は建築基準適合判定資格者検定合格者	氏 名						
	建 築 士 の 場 合	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登 録 番 号				
			登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）				
	建築基準適合判定資格者			合格通知日付又は合格証書日付			
検定合格者の場合			合格通知番号又は合格証書番号				

(用紙 日本産業規格 A4)

省エネ基準への適合性に関する説明書

2023 年 8 月 7 日

様

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第27条第1項の規定による説明をします。この説明書に記載の事項は、事実と相違ありません。

[建築物に関する事項]

所在地 : _____

建築物エネルギー消費性能基準への適合性 :

☒ 適合

☐ 不適合

建築物エネルギー消費性能の確保のためとるべき措置 :

[建築士に関する事項]

氏名 : ○○ ○○ _____

資格 : 一級 建築士 国土交通大臣 登録第 123456789 号

[建築士事務所に関する事項]

名称 : (株)インテグラル一級建築士事務所 _____

所在地 : 茨城県つくば市 _____

区分（一級、二級、木造） : 一級 建築士事務所

(備考)